

古典的 CASE 20.

E.D.夫人は81歳で1906年3月20日に次の病歴のため私のところに来た。

彼女の夫が1906年1月に突然亡くなってからずっと気に病んでいた。

悲しく、涙もろく、落ち着かず、眠れず、嘆き、ため息をつき、深い悲しみと悲嘆、心臓領域の胸の圧迫が悲しみと動きによって悪化した。

聴診器は大動脈弁逆流を示している。

下肢はわずかに浮腫があり、多血質で、以前はとても活発だったが、今は元気がなく周囲に無関心である。Ignatia 1M を処方。

3月24日、以前と同じような胸の圧迫があり、死に関して話す。夫と一緒にいたい。心が沈んでいる。

RX50M.

RX50M.を摂って一週間以内に、その患者はもっと“分別があり道理をわかまえる”ようになった。

胸の圧迫と浮腫は次第に消えていった。

患者は今では健康で、どの40歳女性とも同じくらいよく歩ける。